

＜ 賛助会員への加入要請 ＞

本財団は、昭和44年（1969年）に溶接および検査技術の総合的な普及向上並びに技術者・技能者の人材育成を目的として、旧通商産業省（現、経済産業省）、神奈川県、川崎市、横浜市など官公庁をはじめとし、日本自転車振興会、日本溶接協会、日本商工会議所など関連団体に加え、京浜地区を中心とした産業界の積極的なご指導ならびにご支援のもとに発足致しました。

爾来、昭和52年（1977年）には、学校教育法に基づく日本溶接構造専門学校を当財団の附属部門として開校し、中立機関としての立場から溶接・検査に係わる専門技術の普及・伝承および人材育成を柱とする使命を旨として活動を継続してきました。

ご周知のように、造船業をはじめとする重化学工業や現行の主要産業である自動車工業界などの業界も含め、広範囲にわたる‘ものづくり’の基盤技術として、溶接・接合技術は不可欠な要素技術であります。加えて、これらの工業製品および構造物は、社会に提供されるに当たり、その品質信頼性、すなわち安全・安心が十分に保証されたものでなければならず、その観点から検査技術も極めて重要な要素技術の一つでもあります。工業立国を掲げ産業の発展を願う我が国において、こうした状況は当財団発足当時と比べ変わることなく益々深まってきていると言って過言ではありません。

当財団が活動の柱として推進している溶接・検査に係わる人材育成事業は、我が国の工業（科学技術）振興に密接に関係する事業と確信しております。

貴団体および貴社におかれましては当財団の活動主旨をご理解頂き、賛助会員としてぜひご加入下さいますようお願い申し上げます。

加入手続きに関しては、次ページの様式をご利用下さい。

賛助会員申込書

年 月 日

所在地	〒
会社名または 団体名	
代表者氏名	
資本金	
従業員数	
賛助会費 口数	
連絡担当者 所属部署 連絡先	e-mail : Tel :